

会員の皆様方へ

ホームステイイン津実行委員会 会長 植田賢一

会員の皆様方にはお健やかに過ごしの事と思います。

平素は「ホームステイ・イン津実行委員会」の事業にご理解、ご指導を頂いています事厚くお礼申し上げます。

4月24日の総会で23年度の事業が承認されました。5月には名古屋、三重、鈴鹿国際大学の留学生の2泊3日のホームステイの受け入れ、6月には三重大の留学生を対象とした前期のセカンドホーム、又インド高校生訪日団のホームステイの受け入れ、7月の料理教室ではモルドバ料理を楽しみました。

今後は10月の津祭りでのフリーマーケットと津市国際交流デーへの参加、24年2月には恒例の「ワイワイガヤガヤ・フェスタ」と事業が控えています。メイン事業のホームステイ受け入れは、現在の所、24年2月にはタイのコンケン大学の研修生、3月にはマヒドン看護大学の研修生等の依頼を受けています。

さて3月11日に発生した1000年に一度と言われる東日本大震災では津波、原発事故等で多くの方が被災され「がんばろう日本」を合言葉に復旧、復興に全国民が力を合わせ頑張っています。当会も被害に遭われた方々に少しでもお役に立てるよう、会員の方々に義援金をお願いし、多くの方からご賛同を得ました。ご協力頂きました義援金は中日新聞を通じて日本赤十字社に寄付を致しました。心よりお礼申し上げます。

最後にこれからのいろいろな事業に皆様方のご協力、ご支援を是非よろしくお願ひします。

平成23年度総会開催 役員と事業計画を決める

今年度も11名の役員と22名の協力者で運営します。
皆様のご協力もよろしくお願ひします。

会長 植田 賢一 (再)	副会長 工藤 裕子 (再)
事務局長 井早 照彦 (再)	事務局次長 辻井 信二 (再)
会計 柏原 博行 (再)	監事 高山 京子 (再)
運営委員 田中 陽 (再)	運営委員 吉岡美智子 (再)
運営委員 加藤 美雪 (再)	運営委員 高尾さゆり (再)
運営委員 山口 美奈 (再)	

「今年も5月連休にホームステイ」

5月3日から5日まで名大、三重大、鈴鹿国際大の留学生19名がホームステイし、ホストファミリーと楽しいひと時を過ごしました。「もう一泊あれば」と惜しむ声もありましたが、お別れパーティでは全ファミリーが楽しい出し物で会場を和ませました。是だけに終わらず今後も交流が続いていけば幸いです。

ホームステイは他に4月18日から13日間、タイマヒドン大学、6月11日から2日間、インドの高校生を受け入れていただきました。



留学生リージョンプラザ前で



対面式



お別れパーティ全員でホ

料理交流会だより ベトナム料理とモルドバ料理

3月20日(日)講師にトラン・ヴァン・ソイさんを迎えて40名余がベトナム料理に挑戦しました。事前準備や材料の保管も大変でしたがスタッフの苦勞の甲斐あってみんなで楽しく料理を作ることができました。生春巻が絶品でした。



ソイさんの説明に聞き入る参加者と料理一品

カシアンテラさん民族衣装で

7月3日(日)にはカシアンテラさんを講師にモルドバの代表的な料理ジャーマ(スープ)、インヴィルテイータ(パン)です。40名余の会員と子供も参加できるパン作りに挑戦、調理室は熱気に包まれました。出来上がった料理に舌鼓を打ちました。次回はどんな料理になるのか、来年の3月ごろを予定しています。どうぞお楽しみに。

10月9日(日)津祭り協賛フリーマーケット

未使用贈答用品、使用可能な不用品衣類(クリーニング、洗濯済の綺麗な物)使用可能な玩具等の提供をお願いします。

受付日10月1日(土) 10時~12時 センターバ3F

東日本大震災義援金集約報告

8月末現在88,725円で内8万円を日赤に寄付しました。
引き続き募金活動は継続していきます。

わたしとホームステイ・イン・津

倉田 史佳

私自身が学生時代にホームステイでお世話になった経験から、いつかホストファミリーになりたいという夢があり、ワイワイガヤガヤフェスタでこの委員会を知り入会しました。

今までにタイから2名、中国から1名の受け入れをしました。夫婦共30代の私達は、「お兄さん、お姉さん」と呼んでもらひ、お互いの文化や経済について話をしたり、将来の夢について語り合ったりして楽しい時間を過ごしてきました。私達にとっても留学生から学ぶ事が毎回たくさんあり、文化や習慣の違う国の人と生まれる絆は、宝物となっています。

また、ホストファミリー以外にも少しでもお役に立てればと思い、協力者としてホームページの制作などをお手伝ひしています。



「セカンドホーム対面式」

三重大留学生の第二の故郷事業

23年度前期の三重大留学生の第二の故郷事業セカンドホームの対面式が6月11日リージョンプラザで行われました。台風の影響で延期し

たこともあり今回21名の申込みで対面識には11組が出席、これで延べセカンドホームには293名の留学生が参加しています。地元三重大と国際交流事業の大きな柱となっています。普段着の付き合いを通じて、留学生が日本での生活に楽しい思い出を作り、できれば帰国しても交流が深まれば幸いです。

協力者委員会を始めて開催-6月11日-

当会の事業運営にあたり、協力者の皆さんに意見や提案をいただきました。活動のマンネリ化を無くし少しでも新しい風を吹き込んで行きたいとスタッフ一同考えております。

今後もよりよい意見提起をお願いします。